



# 算数・数学教育に関わる実践的な研究実践

教育学部児童教育学科 准教授 太田 直樹

## キーワード

数学教育学、数理認識、子ども、文字式、統計・確率

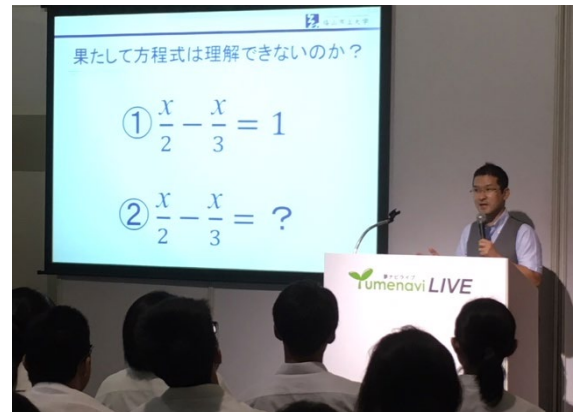
## 該当するSDGs



## 1 研究内容

小学校教諭の経験をもつ実践研究者として、小学校の算数科の実践研究、幼児教育の「算数遊び」などの環境構成など、理論的背景を踏まえた上で、子どもたちの数理認識(つまずき)を大切に研究を行っています。学術分野では、数学教育学の数理認識論に関する研究が専門で、毎年様々な教育現場への指導講師を担っています。

必要に応じて、研究・実践授業などの計画段階から、相互に討議して検討していくことも可能です。



## 2 連携可能性のある研究分野、又は、これまでの連携実績

### 連携可能性のある研究分野

- ①小学生の数理認識に基づくカリキュラム開発
- ②数学教育学全般の教材開発(教科書記載の教育内容以外の教材開発も可能)
- ③乳幼児期における数・量・形に関する保育活動

### これまでの連携実績

- ①研修会講師の実績
  - ・公立小学校の公開授業研究会・校内授業研究会の指導講師を多数実施
  - ・算数授業研究会での授業研究の授業提案者、パネリスト、司会などを複数回にわたり実施
- ②講演会講師・公開講座講師の実績
  - ・高等学校のキャリアデザインとしての出張講義を複数回にわたり実施
  - ・「学力」「特別なニーズ」をテーマとする講座講師
- ③算数・数学に関わるコンクールの審査委員の委嘱